

○徳島大学生の短期インターンシップを受け入れました【本館】

8月31日～9月18日の3週間、週替わりで15名のインターンシップ研修生を今年も受け入れました。

はじめに図書館や大学の仕事についてのオリエンテーションと情報検索実習、館内ツアーを受けて研修に臨んでもらいました。問題意識を持って仕事に取り組んでもらうために図書館の強み、弱みの分析と改善策、第2週目からは、広報、貸出率UP、マナー向上への提案も合わせて考えるように研修生は説明を受けました。



業務では、蔵書点検、カウンター業務、重複図書の抜出作業、書架の清掃などを体験してもらいました。蔵書点検は、10万冊の本のバーコードを1冊ずつ読み取っていき、本が決められた場所にきちんと並んでいるかどうかを調べるものですが、計画よりも早いペースで丁寧に作業を進めてくれました。



最後に各自が考えた図書館分析、改善策、具体的な提案についてグループで検討し、職員も交えて意見交換会を行いました。具体的な改善策がいくつか出され、「3階にもパソコンがあることをもっとアピールする」「パソコンの立ち上げ時間や貸出の待ち時間などに目に入るような広報をする」「定期的な本棚の清掃」など実施可能な提案については、早速実施することにしました。



短い間でしたが、図書館での実習が研修生のみなさんにとって良い体験となればと願っています。

メールマガジン「すだち」第129号本文へ戻る

【すだち】徳島大学附属図書館報 第129号
〔発行〕国立大学法人 徳島大学附属図書館
Copyright (C) 国立大学法人 徳島大学附属図書館
本メールマガジンについて、一切の無断転載を禁止します
